



平成 17 年 6 月 15 日

各 位

株式会社 **ヨロズ**

横浜市港北区樽町三丁目 7 番 60 号
代表取締役社長 志 藤 昭 彦
(コード番号 7294 東証第一部)
問合せ先 取締役管理部長 河原 清
(TEL.045-543-6802)

中期経営計画について

このたび当社は、現在取組んでおります中期経営計画「ヨロズサクセスプラン」において2006年度及び2007年度の業績目標を設定致しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2005年度業績見通し並びに2006年度及び2007年度業績目標

「ヨロズサクセスプラン」では、2008年度の目標として、売上高:1,050億円、売上高営業利益率:6%以上と定め取組んでおりますが、このたび2005年度の業績予想を踏まえ、2006年度及び2007年度の業績目標を以下のとおり設定いたしました。なお、数値は地域別の合算値で連結調整前であります。

(単位:百万円)

	2005年度業績予想	2006年度目標	2007年度目標
売上高	101,692	104,185	104,663
営業利益	2,749	3,660	4,898
営業利益率	2.7%	3.5%	4.7%

2. 「ヨロズサクセスプラン」の概要について

「ヨロズサクセスプラン」の概要につきましては添付別紙のとおりであります。

以 上

中期経営計画
ヨロズサクセスプラン (YSP)

株式会社 ヨロズ

注意事項

注 意

本資料をご覧いただく前に必ず下記の注意事項をお読みください。
なお、本資料ご利用時点で下記注意事項をお読みいただいたものとみなします。

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

中期経営計画 (YorozuSuccessPlan)

2004

2008

ヨロズサクセスプラン

2008年度 目標

売上高

1,050億円

売上高営業利益率

6%以上

経営改革

方策 : マネージメント革命 ・ 生産革命

経営改革の 2本柱

競争力あるヨロズグループへ

ヨロズグループ行動指針

Speed (スピード)

Positive (積極性)

Profit (利益)

マネジメント革命



生産革命



マネジメント革命 - グローバルマトリクス組織の方針管理 -

YGHO (YorozuGlobalHeadOffice) < マネジメント革命推進機能 >

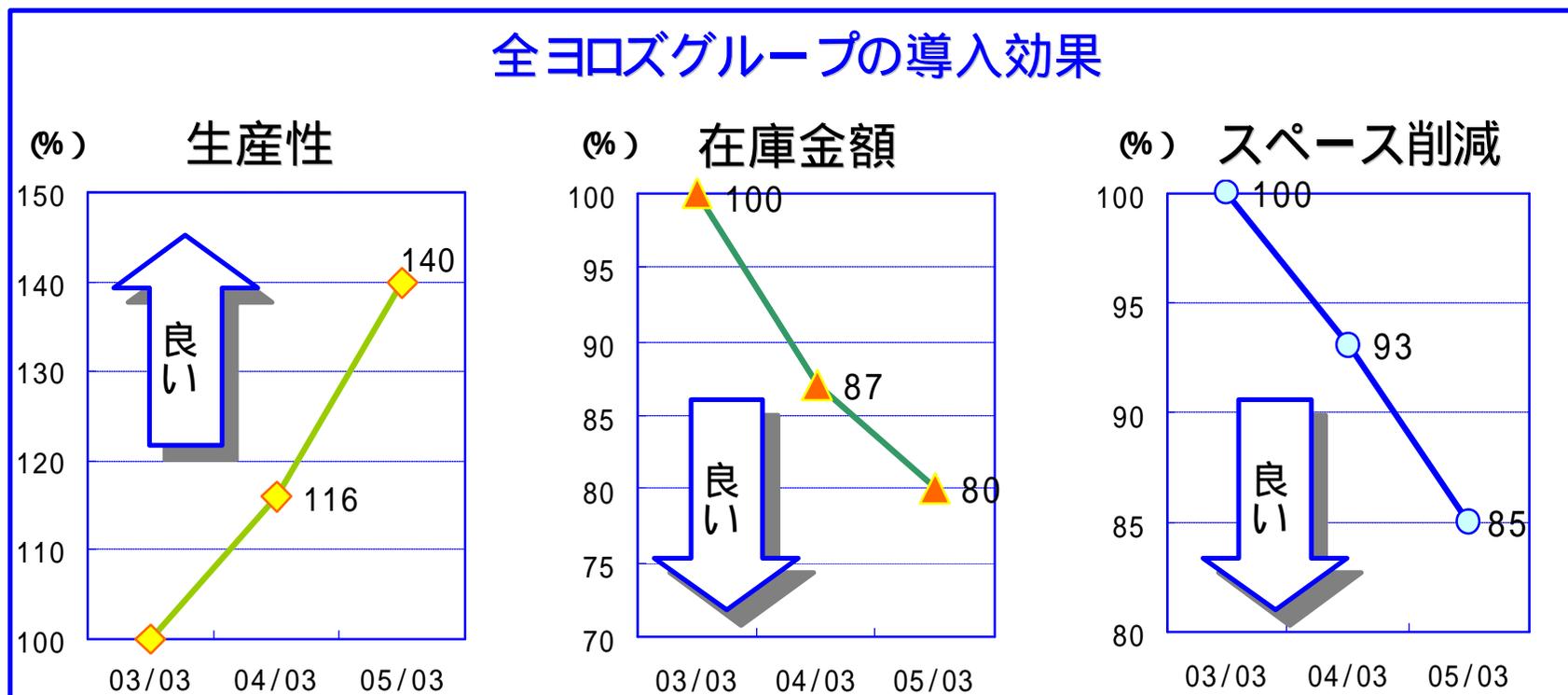
機能 \ 地域	北米グループ	アジアグループ	日本グループ
販売	・『グローバル受注計画』に基づく 本社・各拠点統一営業活動		
品質	・ヨロズ品質保証システムのグローバル展開による品質向上		
開発 技術	・サイマルによる最速・最良のモノ造りを実現しグローバルに展開		
生産	・徹底したムダの排除と変化に強い生産システムづくり		
調達	・グローバル規模の最適調達とコスト削減		
人事	・『人の質』向上施策による人材育成とグループ内の適材適所の為のローテーション実施		
利益企画	・『営業利益率6%以上』達成の為の方策立案と目標の割り付け ・グループ内資金の有効活用による有利子負債の削減		

生産革命

YPW (ヨロズ・プロダクション・ウェイ)の進化 トヨタ生産方式 (TPS)の導入による革新的なモノ造りの確立

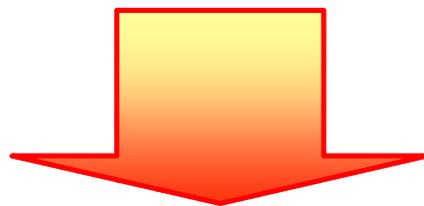
収益力、競争力の向上

改善マインドを醸成し、DNAとして継承



『YorozuSuccessPlan』を達成する為の課題

『Y.S.P』達成のカギは？



『ダントツ』の Q (品質) ・ C (原価) ・ D (供給)
+ Development (開発)

ダントツの『Q・C・D』+ 『D』

Quality (品質)



Acura TL用アルミ製フロントサスペンション



アルティマ/マキシマ用アルミ製リアサスペンション

標準化による品質の向上

ダントツの『Q・C・D』+ 『D』

Cos(原価)



混流生産ライン実現 (大部屋化)



全員参加の改善活動

標準化による原価低減

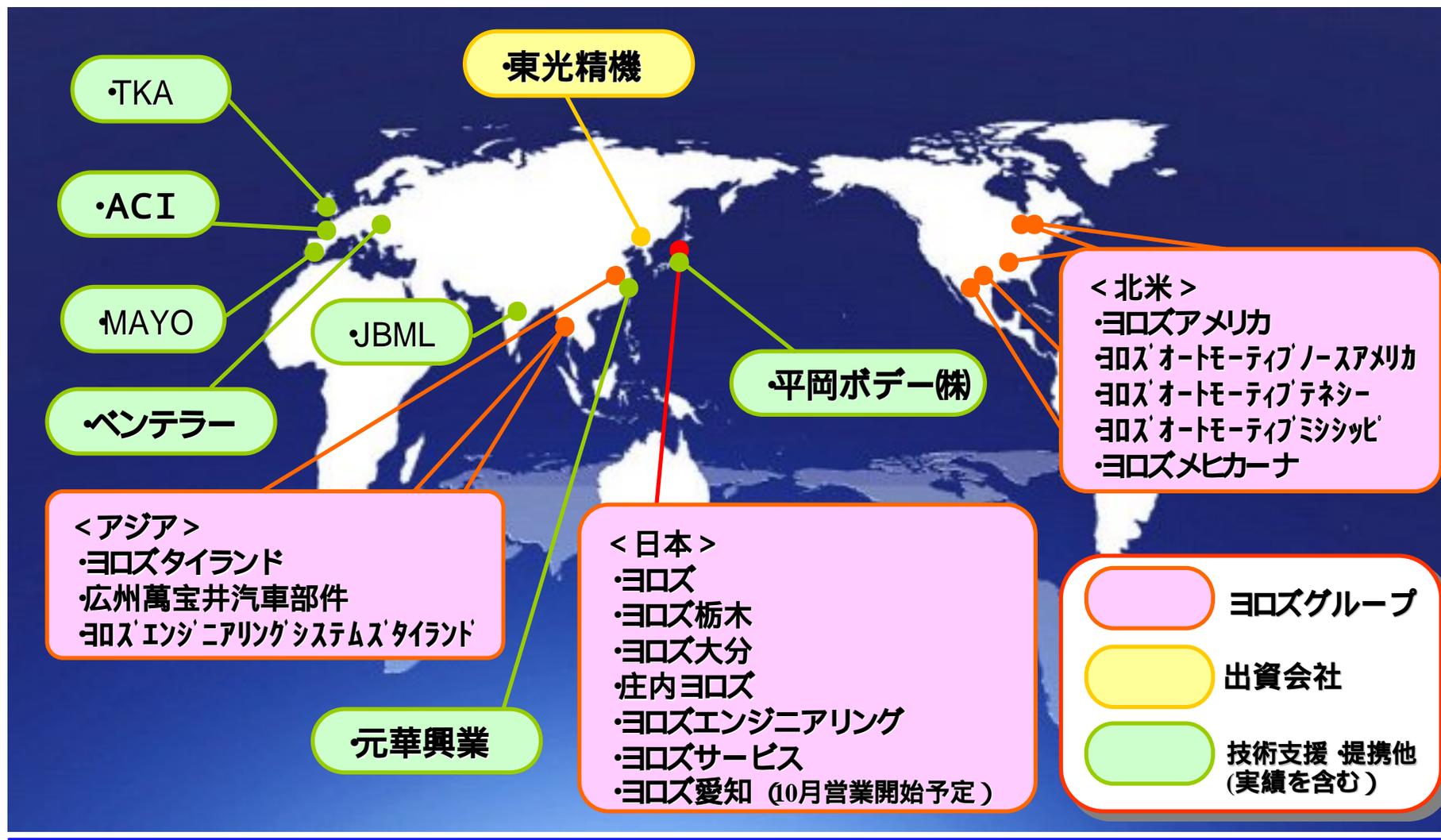
~ 4Mの視点から ~

4M = M an(人) M achine(機械) M aterial(材料) M ethod(方法)

ダントツの『Q・C・D』+『D』

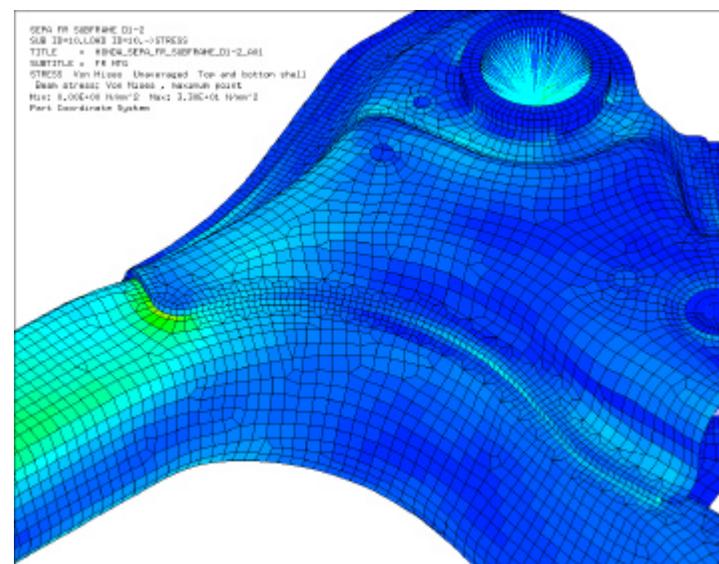
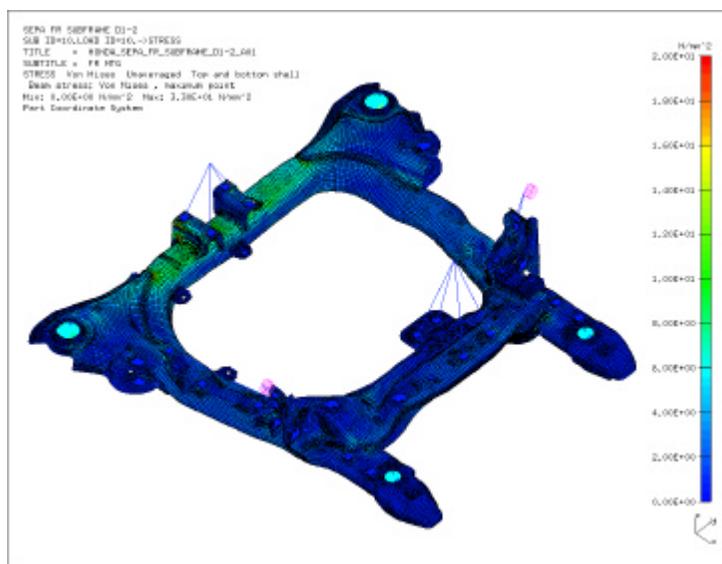
Delivery(供給)

グローバルな拠点構築による最適供給



ダントツの『Q・C・D』+『D』

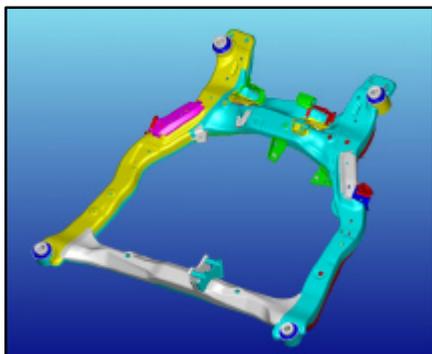
Development (開発)



受注型企业から **提案型** 企業へ

トータルプロダクションシステム

開発 設計



製品設計

試作 実験



耐久実験

生産準備



プレス金型加工

生産



溶接ライン

競争力のある提案型企業

最速・最良のモノ造りへ挑戦

コア技術

プレス工法

業界新技術 巻き管成形

ハイドロ工法

部品業界日本初

アルミハイドロフォームサスペンションメンバー

溶接工法

生産量世界トップ水準

アルミ溶接サスペンションメンバー

モジュール技術

GM及びホンダ向け 10年以上の実績

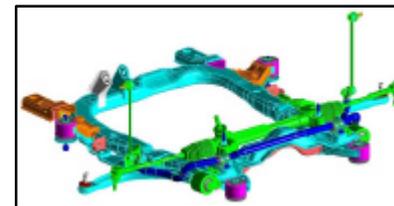
上記を支えるシステム

解析システム

最速・最良のモノ造り

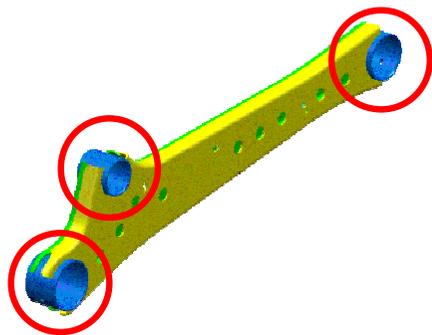
生産システム

フレキシブルな生産システム



最近の開発採用事例

圧入接着防振ゴム



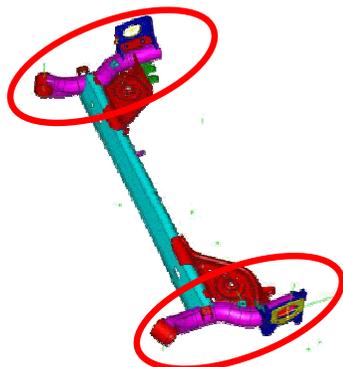
<特徴>

バネ定数等の設計自由度拡大
外筒金具レスによる小型 軽量化とコスト低減



ダイハツハイゼット (04年 12月発売) に採用

巻き管成形



<特徴>

パイプ材 鋼板化によるコスト低減



日産ラフェスタ (04年 12月発売) に採用

中期業績目標

地域別売上高の目標

単位 :百万円

76,580

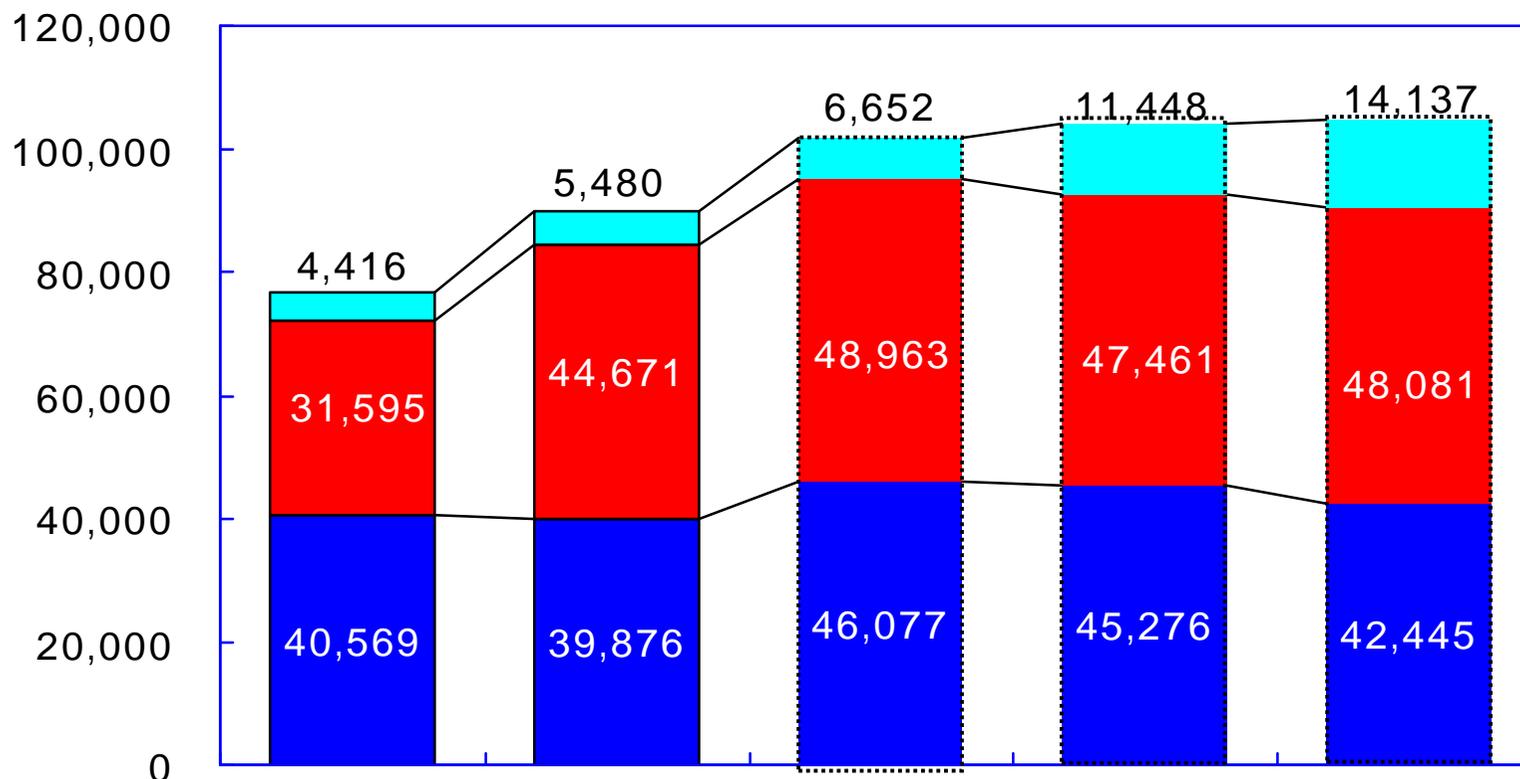
90,027

101,692

104,185

104,663

地域別合算値
連結調整前



■ アジア
■ 北米
■ 日本

構成比	2003年度	2004年度	2005年度予想	2006年度目標	2007年度目標
アジア	5.9 %	6.1 %	6.5 %	11.0%	13.5%
北米	41.2 %	49.6 %	48.1 %	45.5%	45.9%
日本	52.9 %	44.3 %	45.4 %	43.5%	40.6%

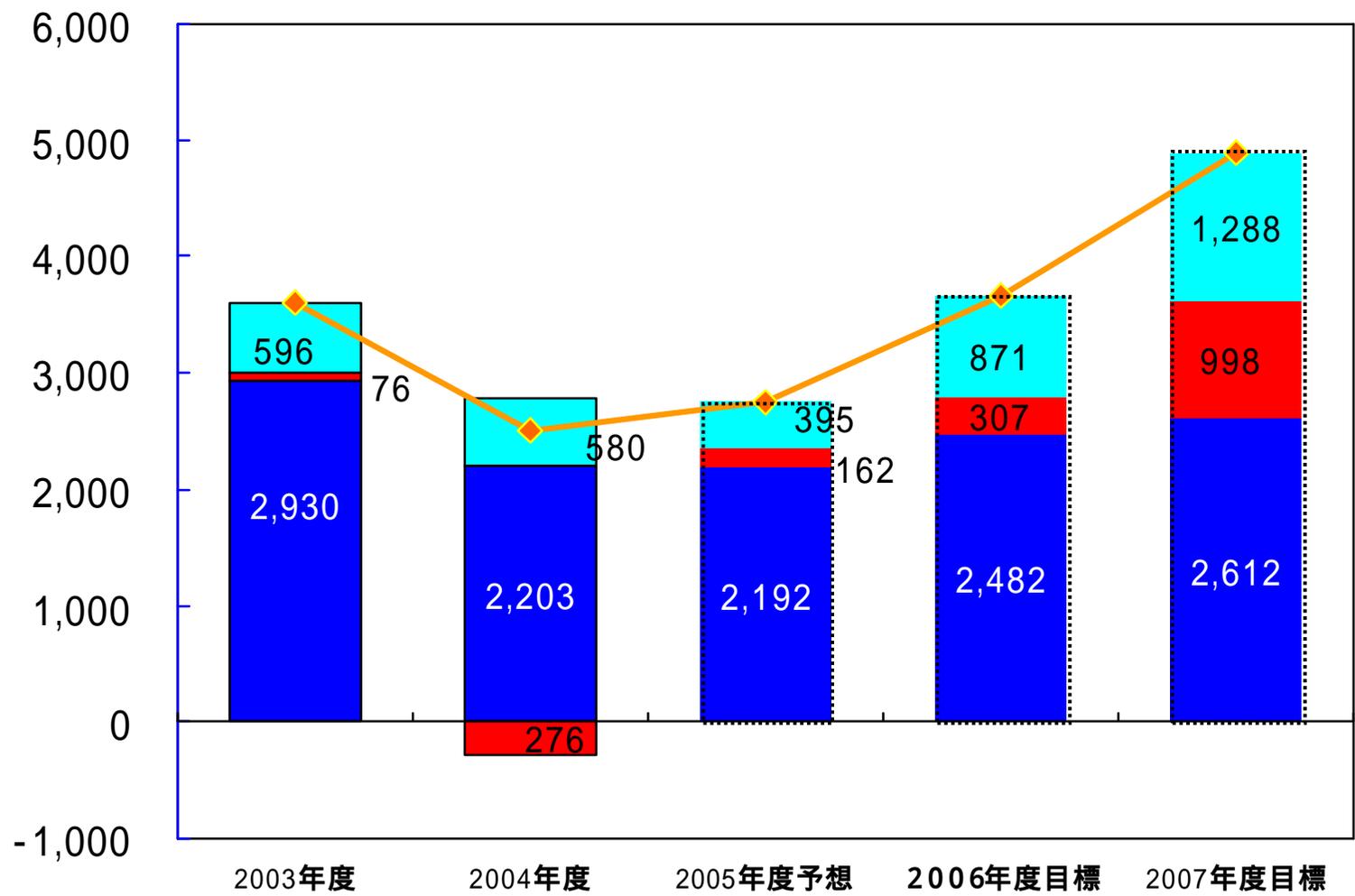
地域別営業利益の目標

単位 :百万円

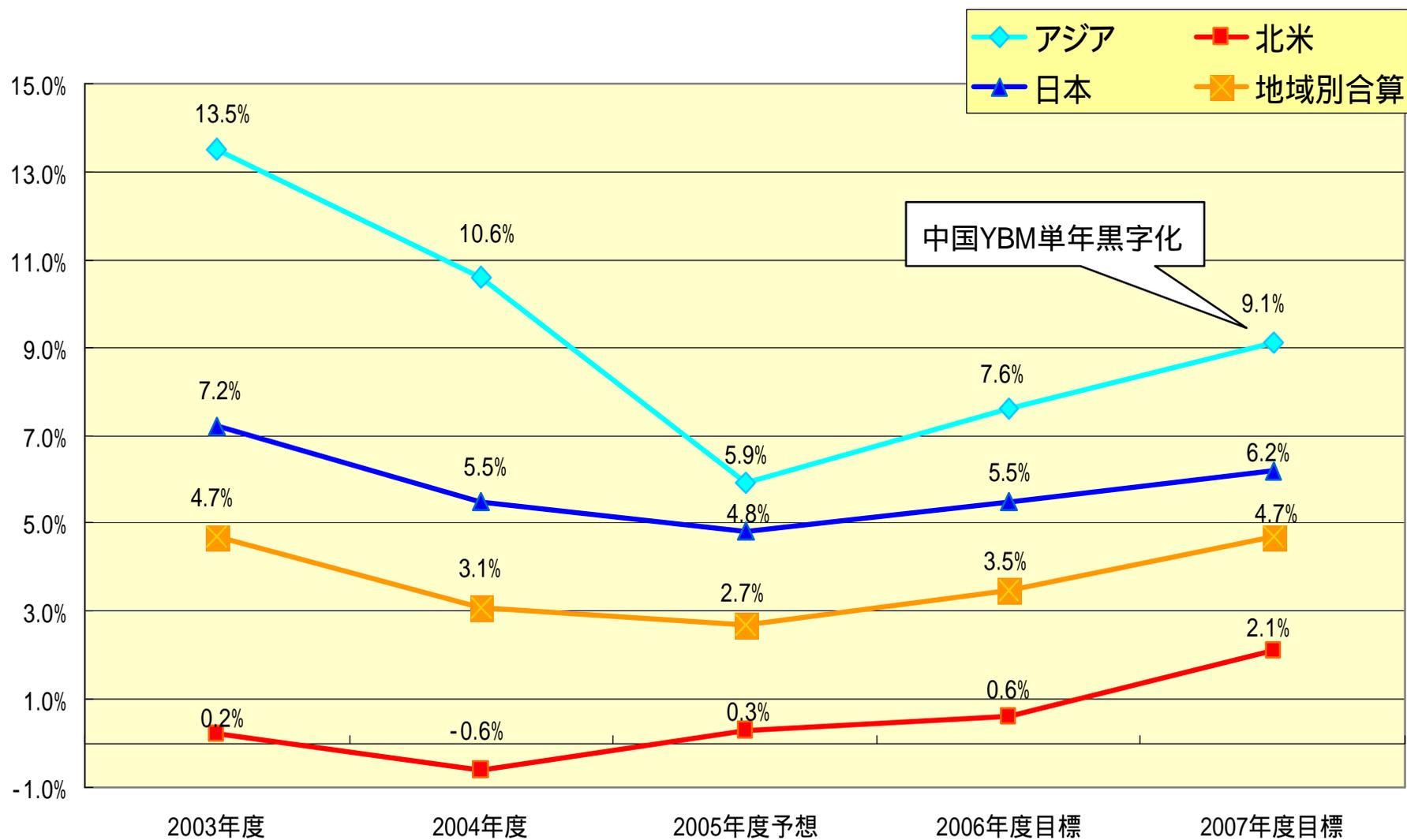
3,601 2,819 2,749 3,660 4,898

地域別合算値
連結調整前

- アジア
- 北米
- 日本
- ◆ 地域別合算



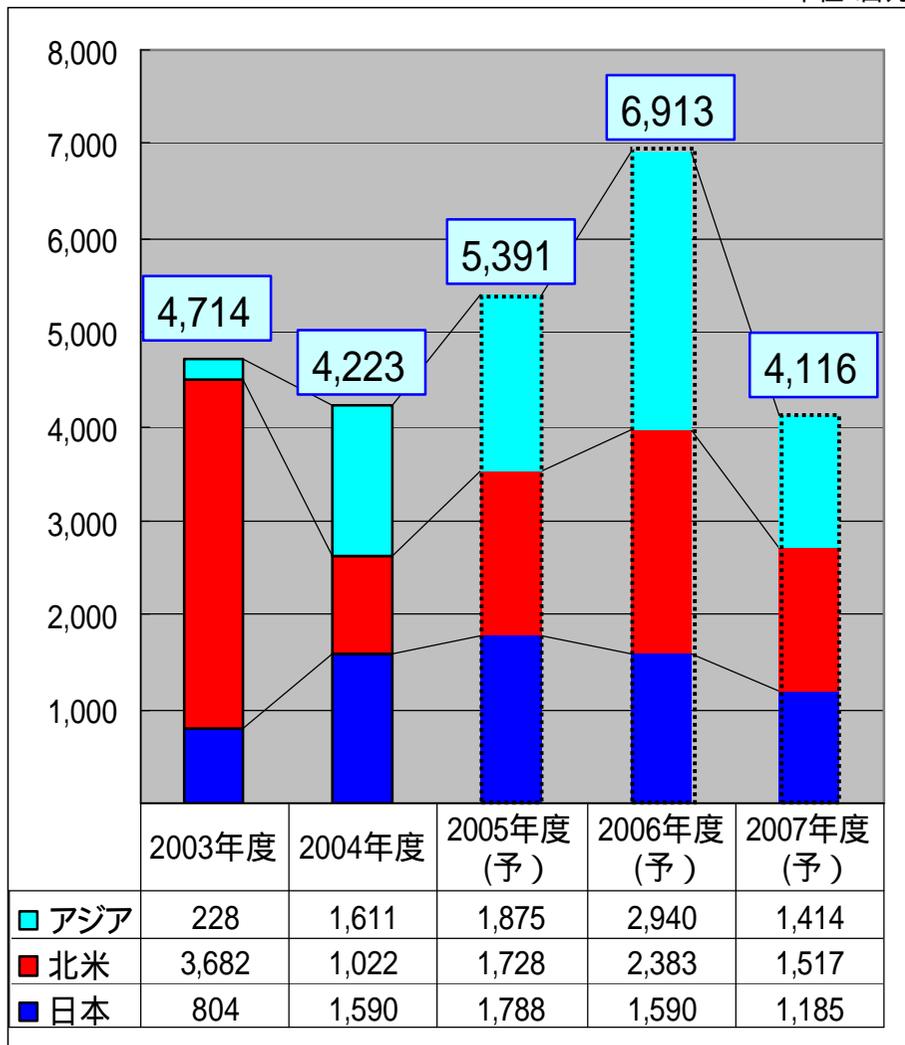
売上高営業利益率の目標



設備投資と減価償却の計画

設備投資

単位:百万円



減価償却

単位:百万円

